長野県社保協ニュース<27－2>

２０２２年１１月１６日（水）　長野県社会保障推進協議会

＜事務局＞長野市高田 276-8　県労連会館１階 TEL 026-223-1281・FAX 026-223-1291

http://www.n-syaho.com　　E-mail: naganosyahokyou1281@star.ocn.ne.jp

「介護に疲れた」「認知症の親の介護、どうすれば」「高齢で独居、なにかあったら心配」「施設の負担が高額で払いきれない」

深刻で多様な相談が 39 件（過去最高）

11/11 介護・認知症なんでも無料電話相談実施

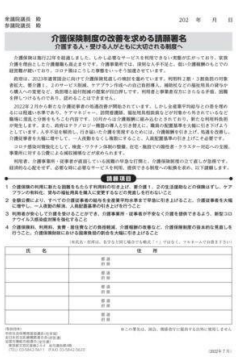
「いい介護の日」の１１日、県社保協が中央社保協と連携して行った電話相談は、県内外の介護に悩む家族などから３９件の相談が寄せられました。医労連、民医連、県労連が協力して相談に応じました。開始直後から電話が鳴りやまず、相談の様子が取材後のテレビ(SBC)で放映されると対応が間に合わず会場からかけ直すことが何件もありました。

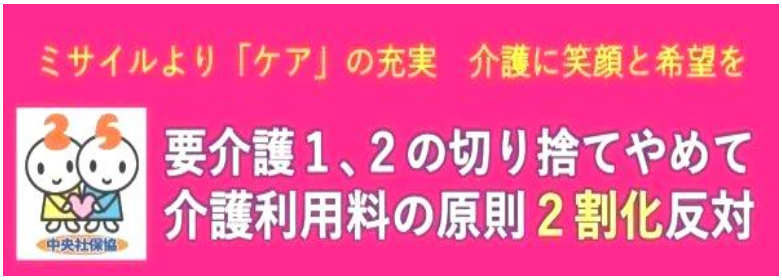
「家で父親を介護しているが不安だ。どんな介護サービスが受けられるか」(60 代女性)、「認知症の母をみているが、介護方法がよくわからず悩んでいる」(40 代女性)、「介護している夫からの暴言・暴力を受けている。どうすれば」(40 代女性)、「施設の料金が月 15 万円かかり負担できない。」(80 代女性)など、制度の利用方法や自己負担金、認知症介護についての相談が多く、認知症の親を介護する家族からの「介護疲れ」を訴える相談は半数以上を占めました。

相談にあたった内山直樹さん(篠ノ井総合病院・MSW)は「介護に困っている人が増えている。相談することで解決にもつながると思う」。金井岳志さん(北信総合病院・MSW)は「多岐にわたる相談が多いと実感した。相談の機会をつくることはとても大事」。早川多恵子さん(長野中央病院・MSW)も「どこに相談したらいいか困っている人が多いことにびっくりした。こうした機会は相談しづらい人も相談しやすい」と語りました。

政府が介護保険の給付削減や負担増をもりこんだ改悪をねらうなか、これ以上の介護保険制度の改悪がすすめば「家族頼みの介護」の現状や、制度からの「置き去り」が一層深刻になることが懸念されます。今回寄せられた声を自治体と国に届け、改悪反対の運動をさらに盛り上げていきましょう。

2022 介護保険制度の改善を求める請願署名をすすめています





＊署名用紙のお問い合わせは県社保協まで